

ACC-J

news

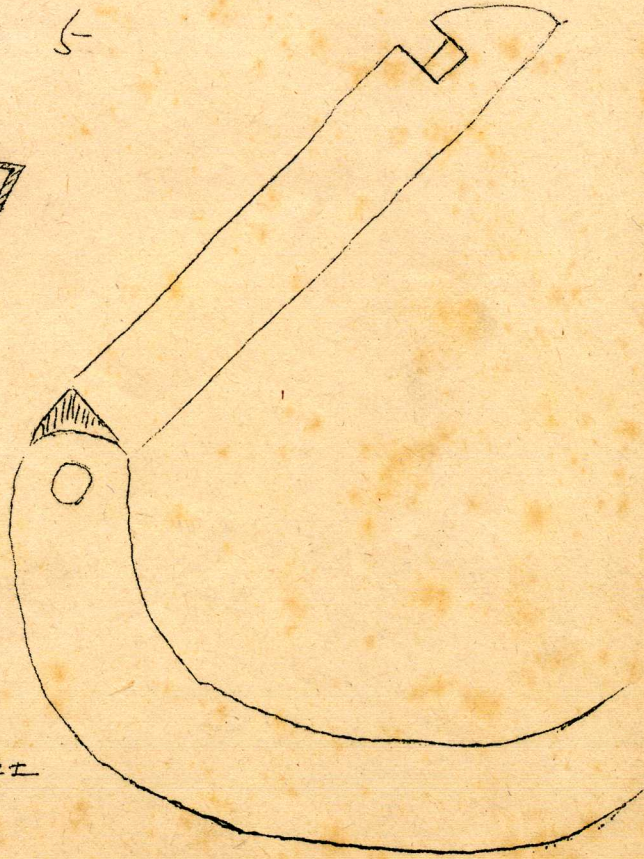
1968-5

no. 7

発行 ACC-J

発行所

ACC-Jニュース株式会社



ACC-Jの諸君こんくちは
 ACC-Jの盛大な御要望にお答えしてこ
 こに再びACC-Jニユース株式会社を設立
 することになりました。

資本金 約 2,000円
 従業員 19名
 社名 ACC-Jニユース株式会社
 会社の所在地 東池袋3-5-4

会長	神田和臣
社長	本岡一統
編集長	本岡一統
カメラマン	鈴木征男
記者	水島幸男
〃	谷川広海
〃	永島良雄
〃	森崎孟
〃	藤岡寛幸
〃	甲野嘉
〃	小川隆嘉
〃	宇井正利
〃	安村一枝
〃	高橋和天
〃	松原又天
〃	山甲茂
〃	穴戸幸裕
〃	会沢謙一

まことにお願い申し上げます。
 社員一同

続ACC-J カムライの横顔

(順は会員名簿より)

(一部旧ACC-Jニュースと重複)

水島幸男先生
 仲間中の通称「赤ちゃん」これは生まれかての
 赤ん坊のニとをさすのではなく従神酒をい
 なくと肌が赤くなることより命名された。
 このカムライは人が良いことばかりは人後
 に落ちないとは評する。
 身体は大さしい人当りが良いので夜の土野の
 プラットホームに行くときあちらこちらから声
 がかかり対応をいそがしいほどである。
 最近といえども去年でが会のトップを結
 婚した。かあちゃんをもらって以前山へのハ
 ッスルはどいってしまっただか、あまりかんば
 しくないね。多分あの方ハッスルしていま
 りだろうと会のうめさしきりである。会の責
 任者であり山に楽しさほもちろん女性に楽し
 さのホキ相談相手になっべくいることはまち
 がいないであろう。

谷川広海先生
 このカムライ大将はたいへん器用でガック等を
 をこわし作り作りしていろいろうちに自分で
 山の道具やるはじめをしまっで 水島さん
 っづきかあちゃんをもらい山にはほとんど行って
 たり。多分体力がたいのびだろう
 何事にもイチャモンつけたいと気が落ちつかない
 いさうでACC-Jの諸君をの奥のミヒンであ
 くニと。

神田和臣先生
地味な男で最初はとっつきにくい感じもある
が知り合おうとたっはんおもしろい人物である。
酒が好きで飲んでいけばゴキゲンである
しかし女性に失礼してはあまり尊敬できない
貞も多し。
去年ヨーロッパアルプスへ行ってきたマッター
ホルン北壁をはじめいくつかの輝かしい登攀
行ってきた山男である
もうすぐかあちゃんをもらうとゆうわらしきりである。

永島良雄先生
通称「ヨッチャン」 かの有名なヘルマンコールは
岩壁の舞師家と言われどかのように詳言くと
もなく良ちゃんの事を指の魔術師と言うようにみ
つく。これは遺やさんのために指の鍛錬がきつ
くいているのであるか。
岩壁登攀ではこの指を便くすばらしい登攀
を見せてくれる。指が二本かかればどんな悪
場もバクダそうである
女性に失礼してはすこしおとしすぎに気取が
あるのももう少しハテにやっくらいたい。

森崎 孟先生
通称「男シャツ」又は「モリサキダンゴ」とからでて
きたかは不明。このところ仕事がいそがしくて
山行の方は叶無沙汰くあるが、ナゲル祭の時
はど「何らかのセツギ」などときわどい話をする時
があるから未成年者は注意を要する。
車の運転はじつにじょうずである。又、今度のナ
ゲル祭を楽しみに行とう

藤岡寛幸先生

このカムライはマーシャーンがとて好まれている。
かあちゃんをもらってからの山行はあまりないが
逢うと俺は好きになったんじゃなくで好きになら
れんぞいなどいなかあちゃんの話聞かえれから
注意

自分は山に行きたいのであるがかあちゃんに
わけて行けなそうである。
かあちゃんに尻をしかれてゐるのはまちかたつな
うである。

中野 融先生

このカムライACC-7のリーダーであり山行の
功績も輝かしい。以前はおとつしんけんへん
まじめな好青年であったそうだが最近の様子を見
ると信じられない。

シャルレのピッケルを研ぎ雪氷岩とあはらし
登頂を見せにくれる御神酒が好きだがフグ
飲む。アール祭の餅は毎年ヨッパライから注意
来年あたりヨーロッパに行くそうであるが光輝
しい登攀ができるように祈りましょう。

小川隆嘉先生

通称「ボヤ」 入会当時世間ズレしてなくかわ
いかったのでこの名を命名されたのであるが最近
はけんけん悪くなっている。カローラなどを乗りま
わし山に行かない日曜日などがールバンドを
してゐるらしい。岩についてはフリーの大家であり
最近積雪期の倉南稜、北岳バットレスから
尾根などで登ってきたACC-7のオフト
ある。

宇井正利先生

通称「宇井先生」 岩登りが好きであるが女性もそう好きである。山に行かなくてデートしている時バツタリ行きあつて大早もあるほどで車の運転はとうとう荒いから乗せてもらう時は気を付けてほしい。岩登りにもう少し落ちつきがほしいね。

安村一枝先生

通称「おねえちゃん」 会の唯一の女性であり美しい人美人であるのはいうまでもない。全員であれどどれでも知っているはずで、最近彼氏ができて女さうであるが本当かしら。山行 北岳バントレス。一の倉との出会いが輝かしい登攀記録もつ。しかしもう少し気を強く持つてもらいたいものである。何となく男性を引きつける魅力があるかみなせて"ある"のか。

本関一統先生

通称「ガニ」 これは歩む方がガニ股で岩登りの時はさらさらどくたるといふより命をさす。本人も直すのをあきらめたらしい。彼は好男子であり女性にもさうとうもてる。最近山行の帰りにバッチやみやげなど買って帰っている様子からみると彼女ができたというわさしきりである。

高橋和天先生

通称「登歩溪流」 これは例のテニ、カニ、カーズ"ボ"ニ似た大時のスタイルが以前の登歩溪流会スタイルに似ている新カリ命をさす。山への情熱、愛着は強く 山岳清掃会、会長にもよくいられている。

最近エボシ異壁中央カマナなどを登ってきたりして
着ると技術行るにやがてい。女性の言動はたいへん詳しい

松原丈天先生

今のところあだ名はない。このカムライは岩登りをす
るために生み出された新しい人物である。最近の登
攀には目ざましいものがある。あまり無茶にいかように
注意して下さい。山行の時汽車のいすの下に寝て
おして女性のスカートの下からのくくせがある
おにキセルの名人でもある

山中茂先生

通称「スケコマのシゲル」ともかわいい感じの
カムライで年上の女性の人気者でもある
年は若いがACC-7の中で水島、神田、西先生につ
ぐ悪者である。この若さで今までに何人の女性を
泣かせてきたかと思うと女性の口元本因君がたい
へん怒っていたよ
去年一の倉ニルンセ。マケカ決シンセに左僕たが
登っているが、今年もカムライでちよび

穴戸幸裕先生 (会に入会というかは変だね)

会に入会してはぶつといたかであるが、家庭の事情
で北海道に帰る。再び上京したため、再びACC-7に
おいては。スキーが上手であり雪へのなれはたい
したものがある。女性は人間ではないとどと豪言
をいふが、女性はいちよ好きである
1印神酒をいざとまにゴキゲンである。山に行
きたい時、酒をちよとくつくにつれ、ちよとく
るにとちよがいなしてある
スケバー。たのこたつたである (女性注意を要す)

金沢謙一先生

手紙入会して三ヶ月から あだ「おま」か「山」は丹沢
じらいで「今から」というわけである
このふうなまじ「め」な青年が「小川君」のふうにならうかと
思うと本当に悲しい
仕事は「理容師」さんであるが「た」で「や」てもらうた
んと「あ」ま「れ」は「気持」を「も」って「お」け「ま」せんぞ
これから一生「懸命」や「つ」いて「ま」すから「お」ろしく「お」ねが「い」
します。

鈴木征男先生

今「手」で「ハイキング」クラブに「入」って「い」た「と」う「で」 「そ」の「ク」ラ「ブ」
で「奥」の「夜」丹沢「北」アル「ゴ」ス「キ」に「行」った「こ」の「が」あり
「ま」す。目的の「壁」は「前穂高屏風岩」で「と」う「で」ある
本当に「岩登り」が「好き」と「い」った「感」じ「で」ある
本「田」君「に」似「て」好「男」子「で」あり「女」性「に」も「も」てる「で」ある
今「後」ヨロシク「お」ねが「い」します。

ああ - くたが「い」れ「る」わ !!

次号刊 毎刊 おしあつ天気図の勉強をしてみたい
と思います。

月に一回テストを行います おまじいエとらなからた
んは その時の例会のお茶代全部はらっていただきます
ますので みなさん勉強して下さい

初期 { 記号の暗記
ラジオの聞き方
天気図の書き方

中期 { 実際のラジオの放送をテープに吹き込んで
聴きながら書いてもらう
天気予報のしかた

後期 { 山の気候の季節ごとの
1 春山の気候
2 夏
3 秋
4 冬

次号刊 { ACC-J トピックス = コース
ACC-J ローカル = コース
ACC-J ドキュメント = コース
ACC-J 三浦記事
山岳トピックス

「おまじい」はじまります

次号刊 毎刊 ルート図を×れます
自分の登った岩壁のルート図がほしい場合
ACC-J = コース k.k まて どうぞ

みなさん女性をいれたい
ACC-J = コース k.k まり